

NWQグローバル厳選証券ファンド 愛称：選択の達人

分配金のお知らせと足元の市場環境について

2022年5月18日

平素は、『NWQグローバル厳選証券ファンド（愛称：選択の達人）』をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドシリーズのうち「為替ヘッジあり／隔月分配型」、「為替ヘッジなし／隔月分配型」はともに、2022年5月17日に決算を迎えました。（「為替ヘッジあり／資産成長型」および「為替ヘッジなし／資産成長型」の決算日は毎年3月17日および9月17日（休業日の場合翌営業日）となっております。）

隔月分配型、資産成長型あわせて運用状況、今後の運用方針についてまとめましたので、報告申し上げます。

なお、隔月分配型2ファンドの当期の収益分配金（1万口当たり、税引前。以下同じ。）をそれぞれ以下のとおりと致しました。

引き続きお引き立て賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

各コースの分配金（1万口当たり、税引前）

	為替ヘッジあり ／隔月分配型	為替ヘッジなし ／隔月分配型	為替ヘッジあり ／資産成長型	為替ヘッジなし ／資産成長型
当期決算 分配金	30円	70円	-円	-円
基準価額 2022年5月17日 現在	9,422円	10,555円	10,044円	12,196円

※「為替ヘッジあり／資産成長型」および「為替ヘッジなし／資産成長型」の決算日は毎年3月17日および9月17日（休業日の場合翌営業日）となっております。

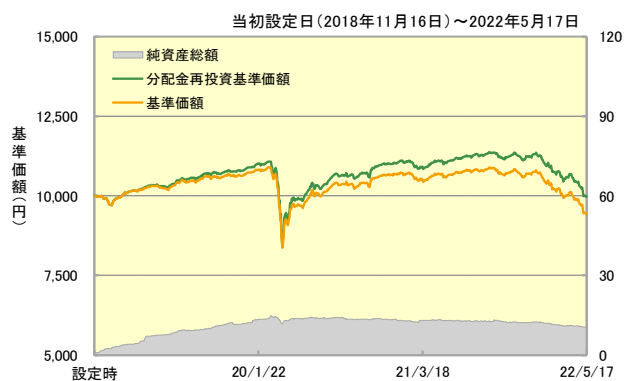
※分配金は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社（大和アセットマネジメント）が決定しますので、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。

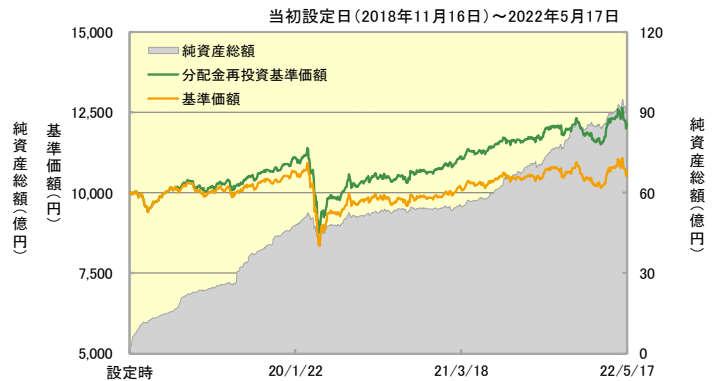
※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

基準価額・純資産の推移

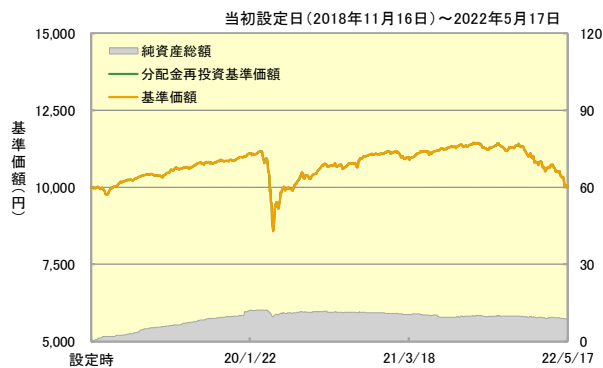
為替ヘッジあり／隔月分配型



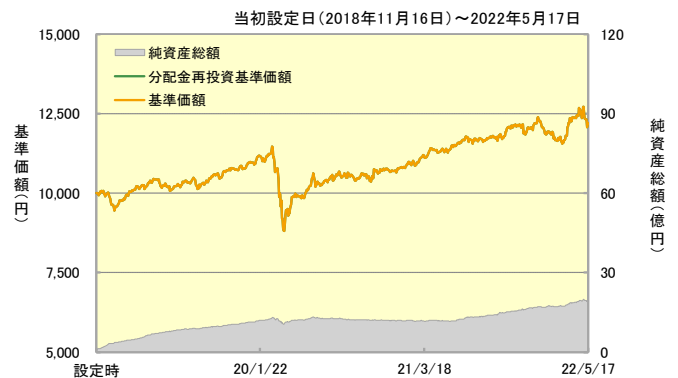
為替ヘッジなし／隔月分配型



為替ヘッジあり／資産成長型



為替ヘッジなし／資産成長型



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

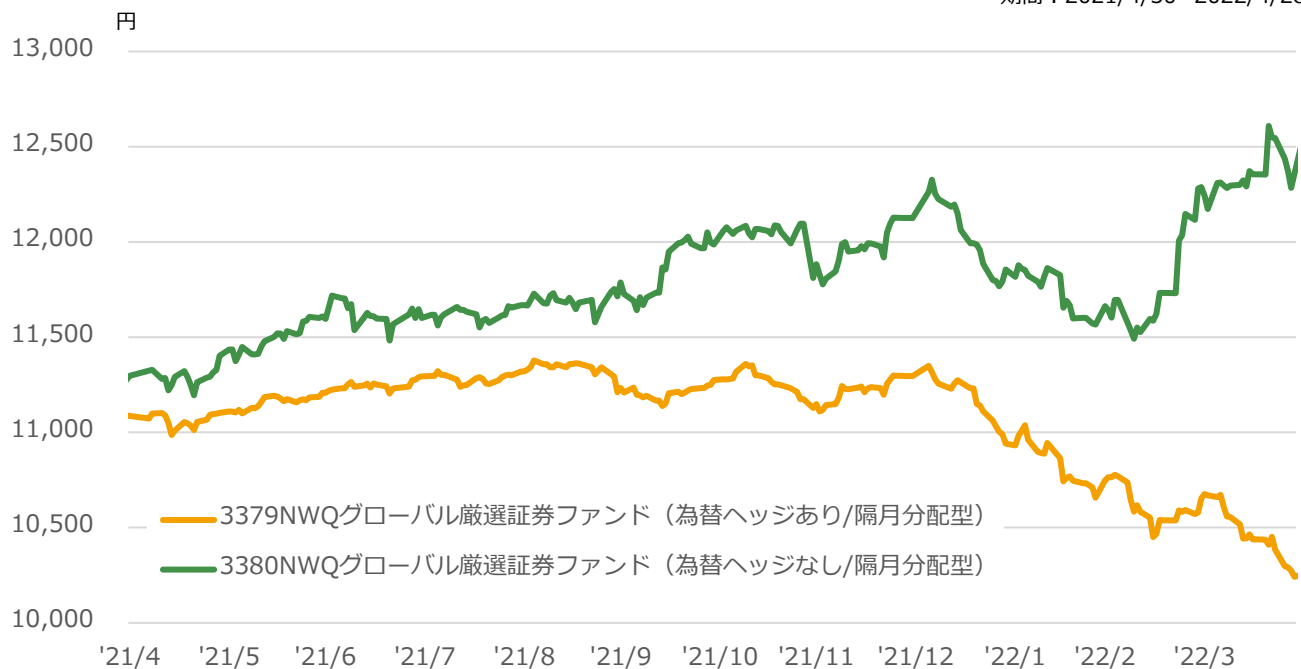
※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

お伝えしたいポイント

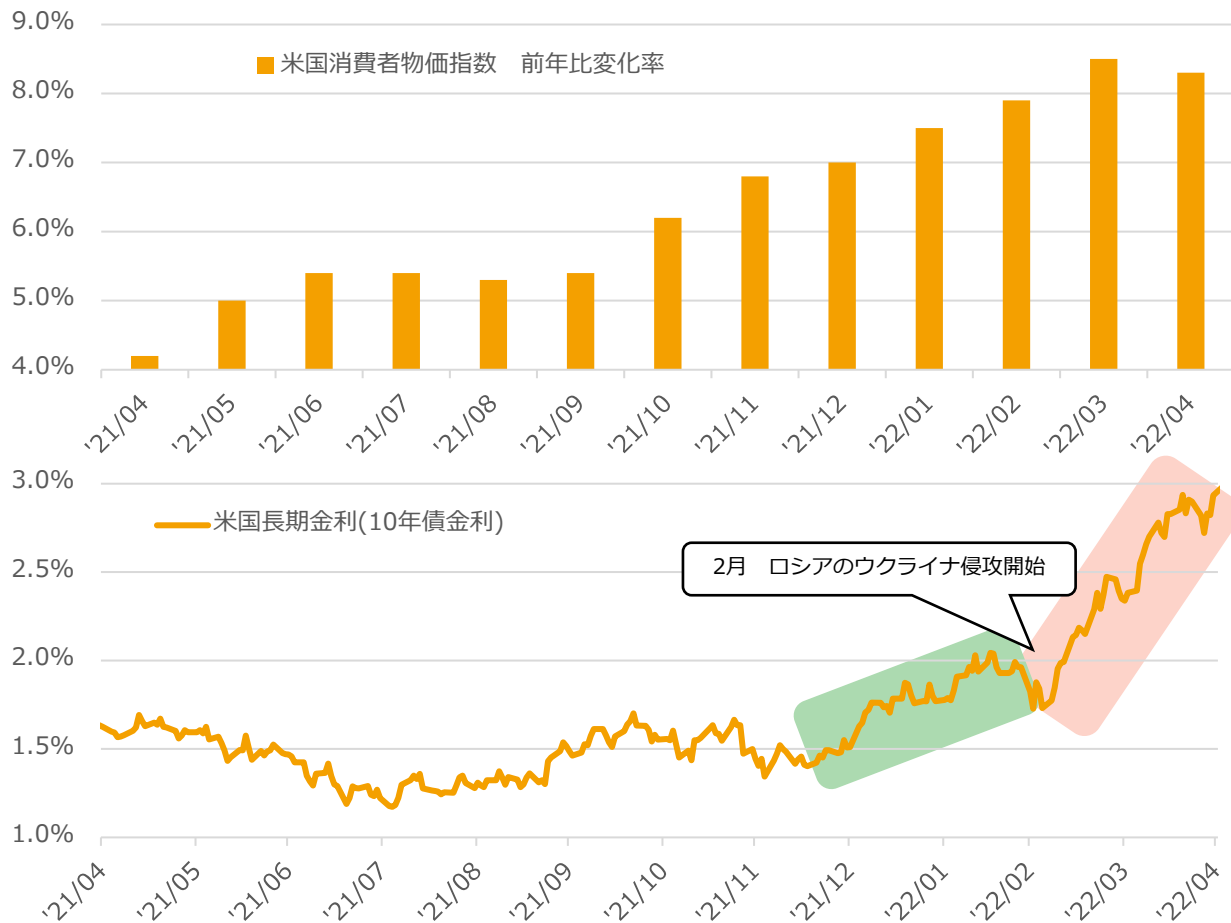
- ・ 高インフレ環境の長期化懸念が強まり、多くのリスク資産は調整局面に。
- ・ 逆風下でも、相対的に底堅いセクター及び証券に投資。
- ・ ポートフォリオは魅力的な利回りに。

過去1年間の基準価額の推移

期間：2021/4/30～2022/4/28



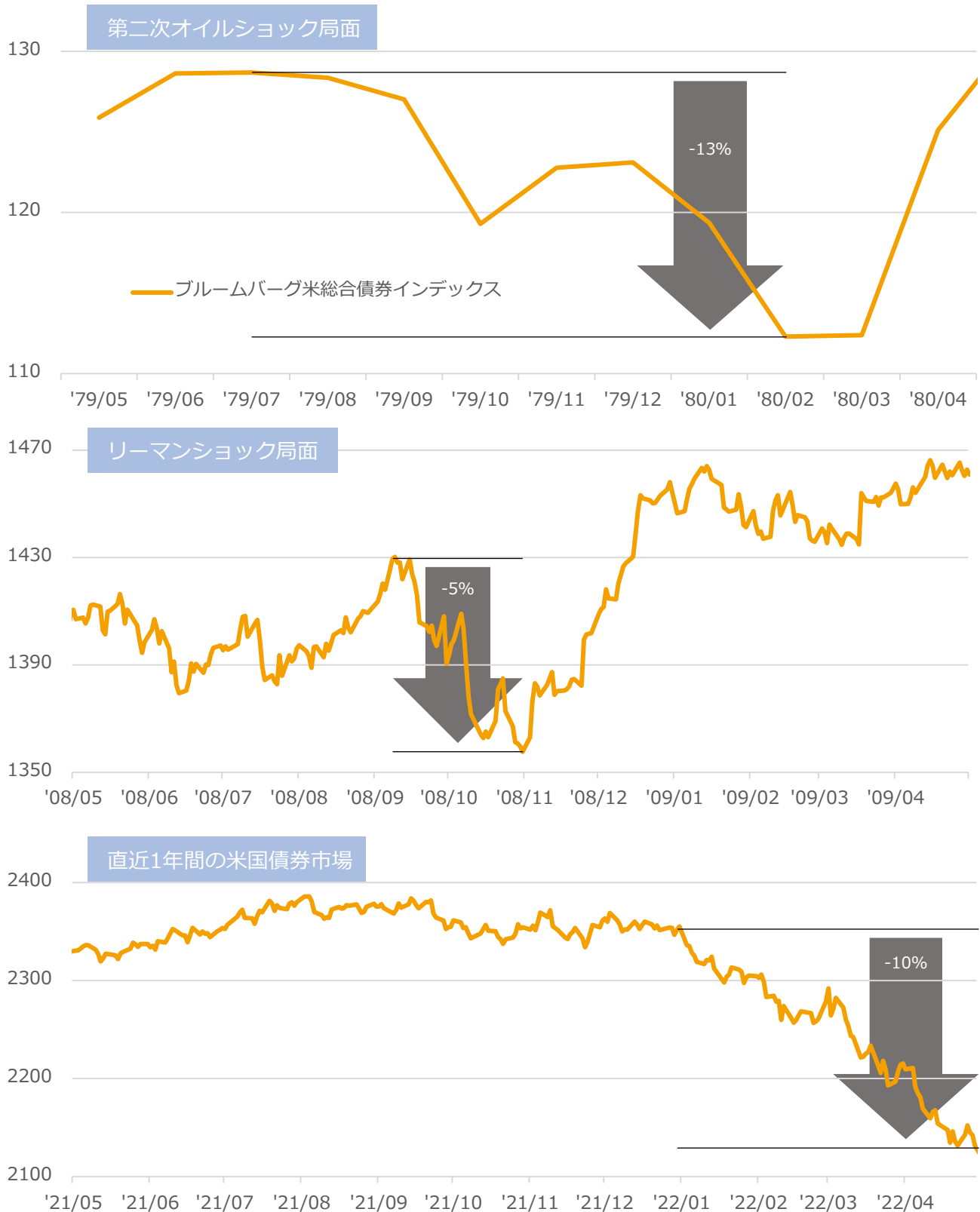
インフレの長期化懸念と金融市場 – 約40年ぶりの大幅な債券価格調整



2021年には、経済再開の動きが顕著になった一方で、物流網の不備や労働力不足によるモノやサービス不足が顕在化し、結果として、米国では2021年9月頃から消費者物価の上昇加速が観測され始めました。当初、これらの供給制約は早期に解消し、インフレは徐々に落ち着きを見せると想定されていましたが、年を越えても物価高止まりが続く中、徐々にインフレの高止まり、そして、FRB（米国連邦準備制度理事会）の金融政策方針がインフレ抑制へとシフトすることが織り込まれ始め、長期金利は上昇基調になりました。

このような状況に拍車をかけたのが、2月のロシアのウクライナ侵攻です。米国を中心とする西側諸国は、ロシアへの経済制裁を発動、そして究極的にはロシアを西側諸国の経済体制から完全に外そうと動き出しました。3月以降、多くの国々がエネルギーの調達体制の再構築を迫られ、また、この戦争の長期化が意識され始めるにつれ、米国においても、インフレの長期的な高止まり、そしてFRBによる迅速かつ強力なインフレ対応が見込まれるようになり、長期金利は急速に上昇しました。

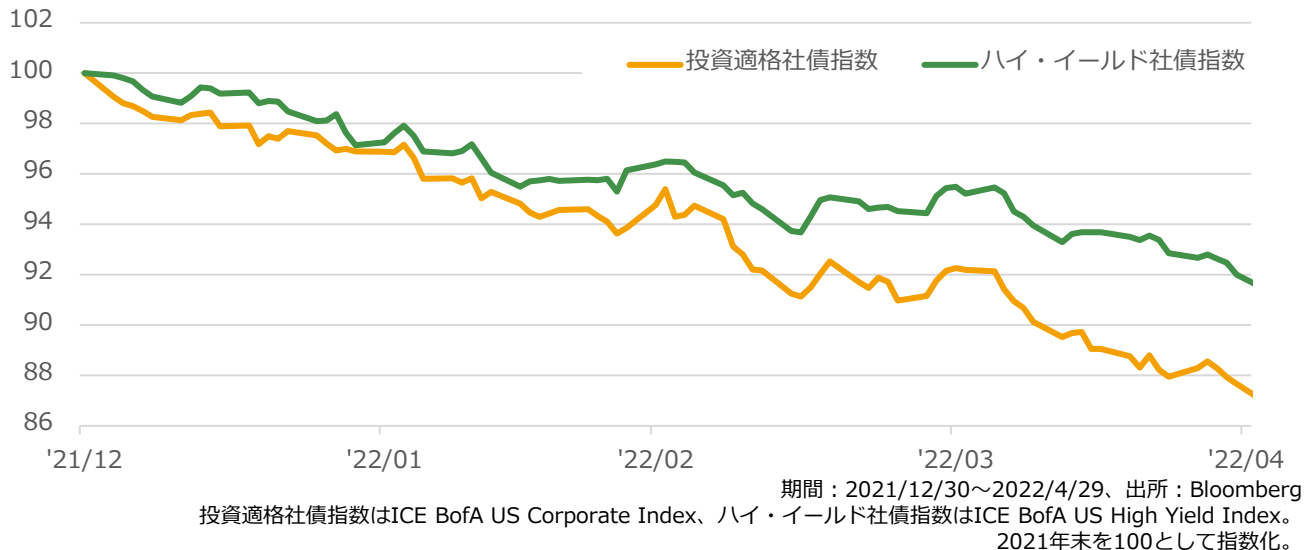
年初来の金利急上昇の局面において、債券価格は大きく下落し、米国の債券市場は大幅な調整を経験しました。1月から4月の4か月間で10%もの大幅下落は、2008年のリーマンショックを上回る大きな値動きで、1979～80年の第二次オイルショック局面にさかのぼるほど稀な動きでした。



期間：上図：1979/5～1980/4（月次データ）、中図：2008/5/1～2009/4/30、下図：2021/5/1～2022/4/29
 出所：Bloomberg

社債市場の動き

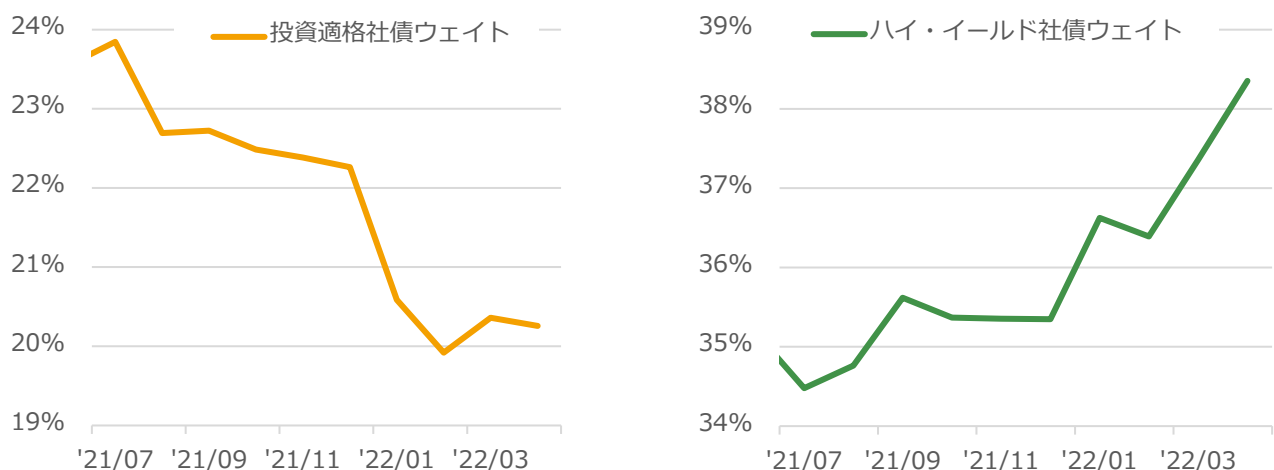
このような金利環境の中で、米国社債市場も調整を余儀なくされましたが、その反応は投資適格社債とハイ・イールド社債で異なっていました。



格付けの高い投資適格社債は、米国債金利上昇の影響を受けやすく、年初来で大きく下落しましたが、格付けの低いハイ・イールド社債の値動きは、これに比べると小幅な下落にとどまっています。

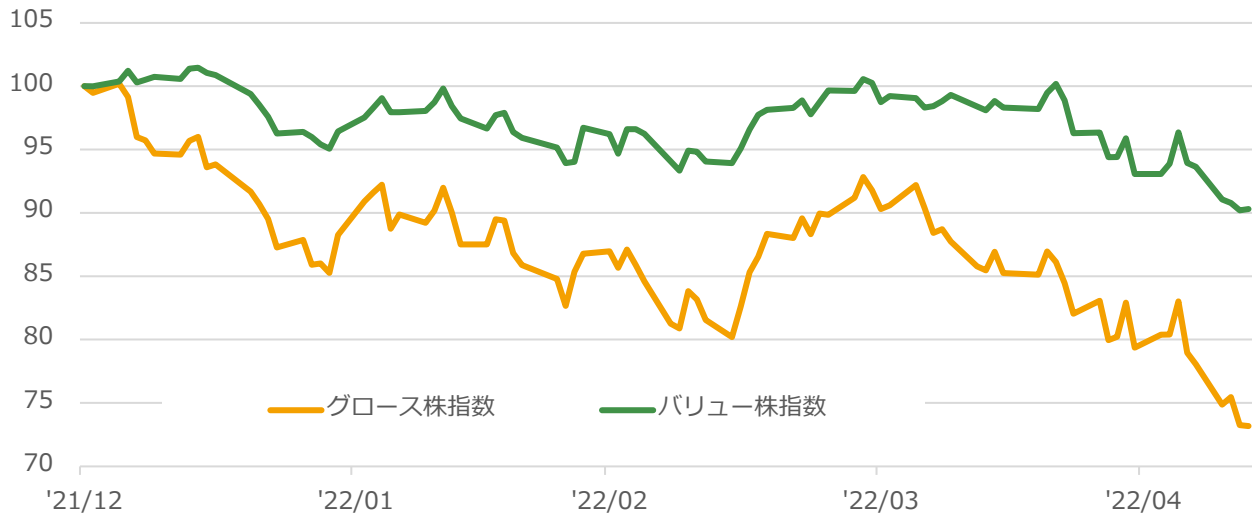
ハイ・イールド社債は、金利の影響だけでなく、発行体の信用力が値動きに大きな影響を与えますが、足元では依然として堅調な企業業績や財務内容の企業が多く、このような強いファンダメンタルズが価格の底支えにつながったものと考えられます。ハイ・イールド社債市場では、格上げの傾向が続いており、2021年以降、格上げされた債券額が格下げされた額に比べて3倍以上と高水準で推移しています。

当ファンドでは、昨年半ば以降、金利上昇及び経済正常化に伴うハイ・イールド社債の格上げの動きを捉え、投資適格社債を減じ、ハイ・イールド社債の比率を高め維持してまいりました。このことは結果として、債券市場下落の影響を抑制する方向に働きました。



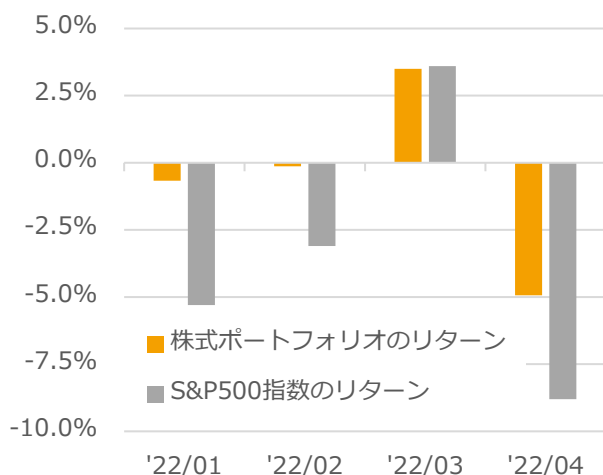
期間：両図とも2021/7～2022/4（月次データ）
出所：Nuveen社

株式市場の動き



期間：2021/12/30～2022/4/29 出所：Bloomberg

グロス株指数はラッセル1000グロス指数、バリュース株指数はラッセル1000バリュース指数。2021年末を100として指数化。



期間：2022/1～2022/4（月次データ）、出所：Nuveen社

株式市場においても調整が進んでいますが、社債市場とは異なり、年初来ではグロス銘柄の下落が極端に大きく、バリュース銘柄は相対的に堅調に推移しました。

このような状況で、当ファンドでは、資源価格高騰の恩恵を受けるエネルギー企業の株式や、安定的な収益が見込めるディフェンシブな銘柄への投資を増やしました。その結果、株式ポートフォリオ部分は、年初来で-2%と米国株式市場全体（S&P500指数は-13%）に比べて小幅な下落でとどまりました。

エネルギー企業への投資事例：バレロ・エナジー株式



期間：2021/12/30～2022/4/29、出所：Bloomberg

バレロ・エナジーは、米国にて石油精製および石油商品の販売を手掛けています。メキシコ湾沿岸を中心に15の精製所を運営し、日量300万バレル以上の石油精製体制を持っています。今年に入ってからエネルギー価格の上昇による恩恵を受け、株価は大きく上昇しました。石油製品の需給関係が業績変動要因ですが、オフィス回帰や旅行再開の動きが需要を下支えし、今後も業績は堅調に推移すると期待されます。

ポートフォリオは魅力的な利回りに

22年4月時点	ウェイト	利回り
投資適格社債	20%	5.4%
ハイ・イールド社債	38%	6.4%
優先証券	18%	5.5%
転換社債	8%	7.0%
普通株式	12%	2.6%
現金	4%	－%
ポートフォリオ全体	100%	5.4%

出所：Nuveen社

物流網の寸断や労働力不足の問題に端を発した世界の物価上昇は、ロシア・ウクライナ戦争によるエネルギー資源や穀物の供給問題、そしてさらに、4月以降の中国の主要都市封鎖の影響が大きくなり、ますます先行きが見通しづらくなっています。このような中で、FRBは今年3月と5月に政策金利を引き上げ、今後も利上げを続けると同時に量的引き締め（QT）を行い、インフレ抑制を優先していく見込みです。

一方で、米国経済は依然力強い雇用と旺盛な需要に支えられています。コロナショックで失われた雇用は、足元で9割以上が回復しており、個人消費も高水準にあります。こうしたことから、社債市場では企業の格上げ継続が見込まれます。

広範な債券価格の下落により、当ファンドのポートフォリオ利回りは魅力的な水準に上昇してきています。昨年12月時点の利回りは3.7%でしたが、足元では5%を越え、アセットクラスの中には7%を越えるものも出てきています。

今後の投資計画

今後も米国では経済正常化と利上げ局面が続くと考えられます。

当ファンドでは、引き続き投資適格社債への投資を小幅ながら減らし、他の高利回り証券への投資に入れ替えていく予定です。一例として、魅力的な利回り水準を持ち、金利上昇局面に耐えうる投資対象として、変動金利等の優先証券の銘柄にも新規投資を行っています。ハイ・イールド社債市場では、多くの企業の財務状況は健全であり、質が高く潤沢な流動資産を有していることから、引き続き格上げが続くと見込まれるため、高めの投資比率を維持する予定です。株式においては、安定した収益を生み出していくことが期待できる企業を厳選し、投資してまいります。

改めてお伝えしたい、当ファンドの3つのポイント

POINT

1

債券並みのリスクで株式並みのリターン

POINT

2

有望企業が発行する株式、債券、優先証券、転換社債から
低いリスクと高いリターンが期待される最適な証券を選択

POINT

3

高いインカム収入がパフォーマンスを下支え

当ファンドの運用を行なう

ヌビーン・アセット・マネジメント・エルエルシーについて



世界最大級の年金運用機関

TIAA

(米国教職員退職年金/保険組合)



nuveen

A TIAA Company

TIAAの資産運用部門

NUVEEN LLC

(ヌビーン・エルエルシー)

nuveen

アクティブ投資の世界最大手

ヌビーン・アセット・マネジメント・エルエルシー

運用資産残高：約2,780億米ドル（約33兆8,326億円*）

従業員数：410人（内、約400人が運用担当） 平均業界経験年数：約18年

運用チームの企業訪問数：約1,000件（2021年）

当ファンドの類似戦略のアナリスト人員数：株式／66人、株式以外／45人

※2021年12月末時点。*換算為替レートは、（2022年3月末時点のレート）1米ドル=121.70円。

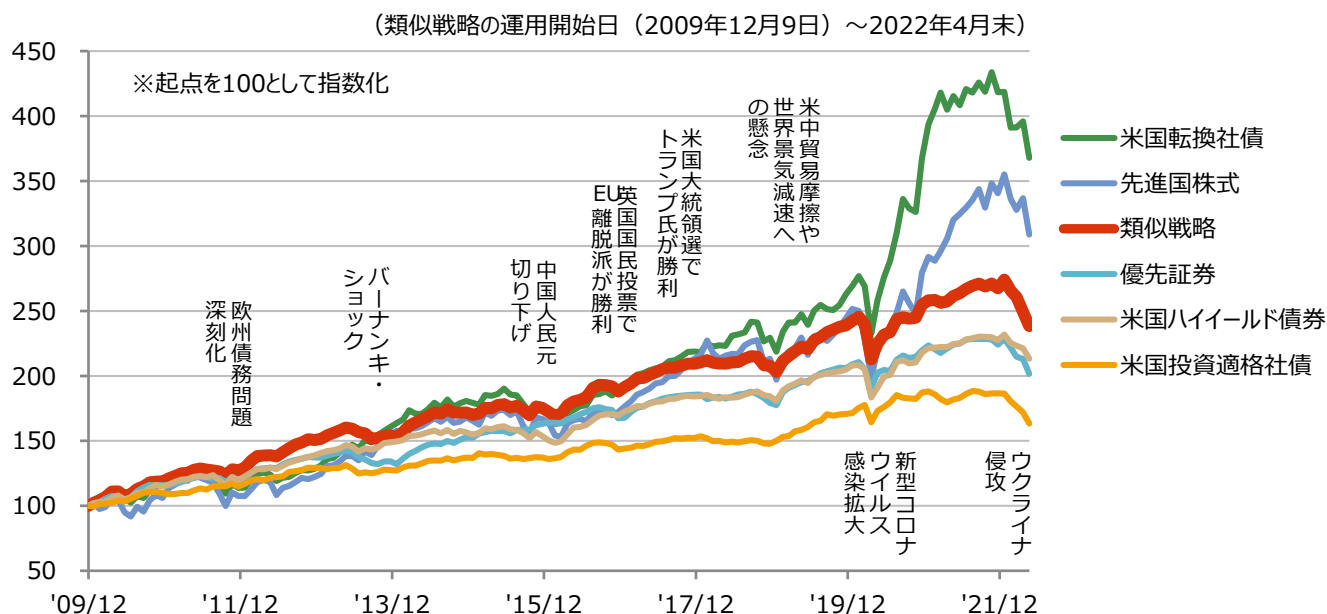
※当資料中においてヌビーン・アセット・マネジメント・エルエルシーをヌビーンと表記することがあります。

(出所) ヌビーン

Point 1. 債券並みのリスクで株式並みのリターン

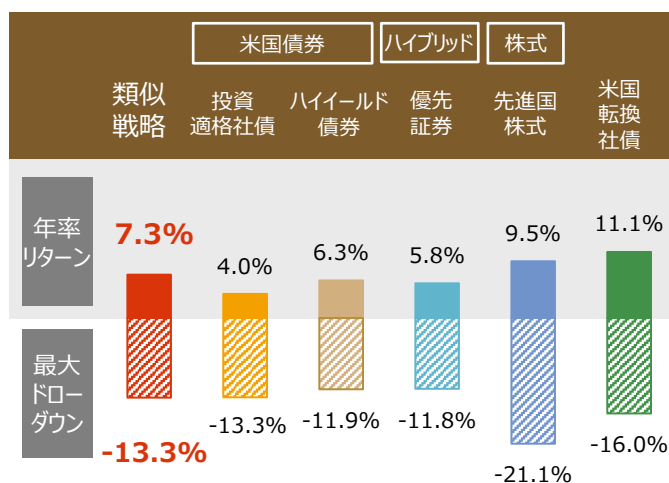
当ファンドの類似戦略は世界の米ドル建資産（株式、債券、優先証券、転換社債など）に投資しています。新型コロナウイルス感染拡大の影響により一時的に大きく調整したものの、設定来、市場が大きく変化する中においても、安定的なパフォーマンスを実現してきました。

当ファンドの類似戦略のパフォーマンス推移



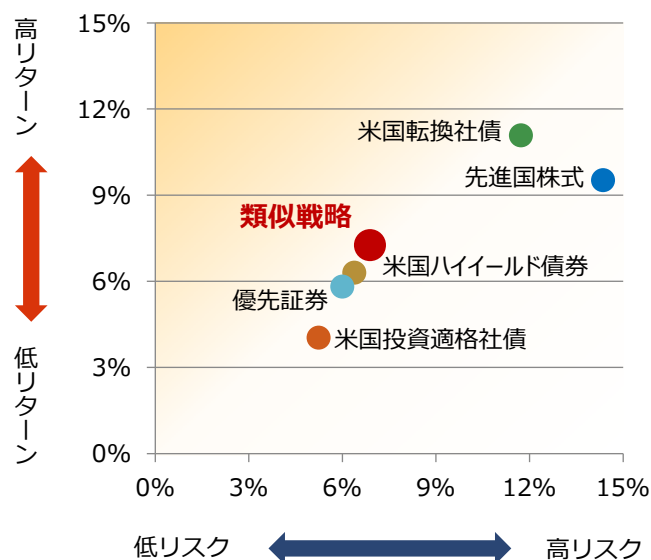
当ファンドの類似戦略の最大ドローダウン

(類似戦略の運用開始日（2009年12月9日）～2022年4月末）



当ファンドの類似戦略のリスク・リターン特性

(類似戦略の運用開始日（2009年12月9日）～2022年4月末）



*最大ドローダウン：過去の資産価格のピーク時からどれだけ下落したかを示します。その資産の安定性を図る尺度として使われます。
 ※上記資産はそれぞれ異なるリスク特性を持ちます。※類似戦略は米ドルベース、費用控除前のパフォーマンス。※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。※各資産は米ドルベース、トータルリターン。※「先進国株式」はMSCI World Index、「米国投資適格社債」はICE BofAML US Corporate Index、「米国ハイイールド債券」はICE BofAML BB-B US High Yield Index、「優先証券」はICE BofAML Fixed Rate Preferred Securities Index、「米国転換社債」はICE BofAML US Convertible Indexを使用。
 (出所) スピーン、ブルームバーグ

Point 2. 有望企業が発行する株式、債券、優先証券、転換社債から低いリスクと高いリターンが期待される最適な証券を選択

当ファンドは、マクロ環境の見通しに基づいて資産配分を行なう一般的なバランス型ファンドとは異なり、徹底した調査・分析に基づいて有望企業を選択し、その企業が発行する複数証券の中から、最も投資効率が良い（＝リスク調整後の期待リターンが高い）証券に投資します。

このような独自の投資戦略により、引き続き高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンの獲得をめざします。

債券並みのリスク・株式並みのリターンを追求する選択方法

選択の達人

徹底した企業分析を重視する**ボトムアップ・アプローチ**

“有望企業”の“最適な証券”を厳選し、ポートフォリオを構築

債券並みのリスク・株式並みのリターンを追求

ポートフォリオ

株式

債券

優先証券

転換社債

ステップ2

“最適な証券”
の選択

同一企業が発行する複数証券の中から、最適な証券を選択



ステップ1

“有望企業”
の選択



(ご参考)
一般的なバランスファンド

マクロ経済分析を重視する**トップダウン・アプローチ**

経済見通しに基づきポートフォリオを構築

ステップ1 マクロ経済の分析

景気、金利など市場環境を分析し、資産配分を決定

ステップ2 各資産内で投資銘柄を選定

魅力度に応じて各資産クラスの中で投資銘柄を調整

ポートフォリオ

株式

債券

優先
証券

転換
社債

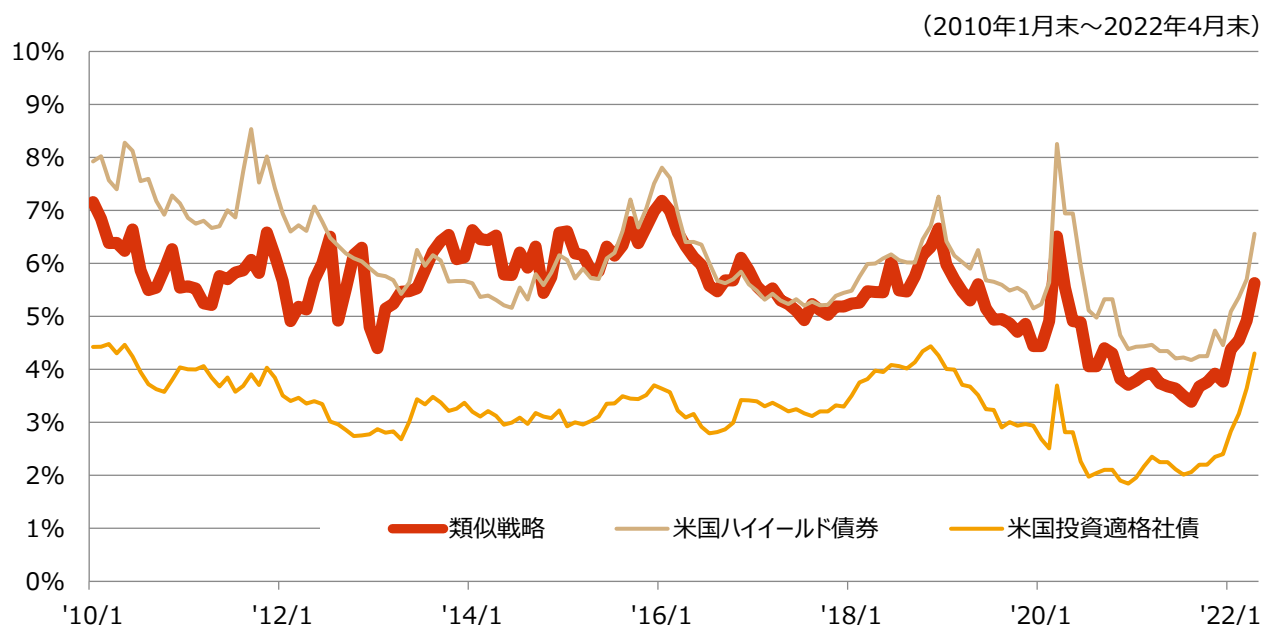
※上記は資料作成時点のものであり、今後見直す場合があります。※上図はイメージです。

(出所) スピーン

Point 3. 高いインカム収入がパフォーマンスを下支え

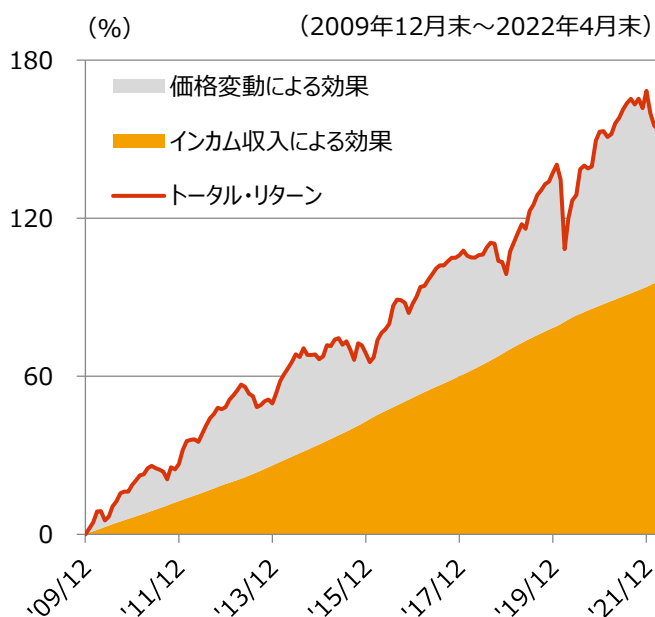
当ファンドの類似戦略の利回りは、相対的に高い水準を維持してきました。

利回りの推移



相対的に高いインカムの積み上げがパフォーマンスを下支えし、当ファンドの類似戦略は累積でプラスのトータル・リターンをあげています。

当ファンドの類似戦略のリターンの要因分析



(2010年～2022年)

トータル・リターン		① インカム収入	② 価格変動
2010	18.7%	6.4%	12.3%
2011	6.7%	5.9%	0.8%
2012	17.1%	5.7%	11.4%
2013	0.9%	5.9%	-4.9%
2014	11.2%	6.3%	4.9%
2015	1.4%	6.5%	-5.2%
2016	11.1%	6.3%	4.8%
2017	9.9%	5.4%	4.5%
2018	-3.5%	5.9%	-9.4%
2019	19.4%	5.3%	14.1%
2020	6.5%	4.7%	1.8%
2021	6.1%	3.8%	2.3%
2022	-9.6%	1.6%	-11.2%
累積	142.6%	97.0%	45.6%

* 2022年は4月までのデータ。

※上記資産はそれぞれ異なるリスク特性を持つものであり、利回りの比較はあくまでご参考です。※利回りは最終利回りを使用。※類似戦略は米ドルベース、費用控除前のパフォーマンス。※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。※「米国投資適格社債」はICE BofAML US Corporate Index、「米国ハイイールド債券」はICE BofAML BB-B US High Yield Indexを使用。

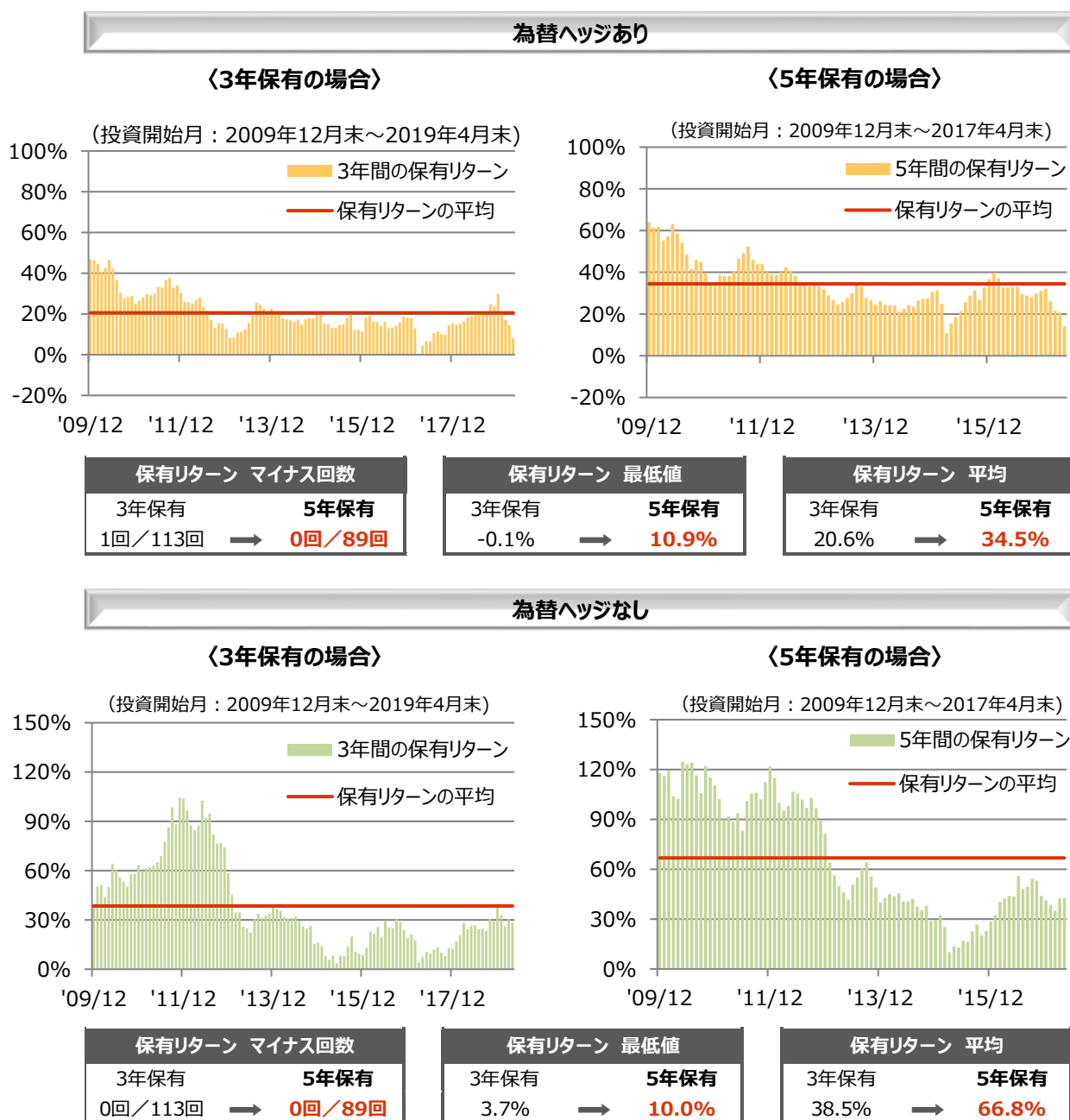
(出所) スピーン、ブルームバーグ

(ご参考) 長期保有で安定したリターンを獲得

当ファンドの類似戦略は、相対的に高いインカムの積み上げにより、5年間継続保有したと仮定した場合、「為替ヘッジあり」「為替ヘッジなし」のいずれにおいても全期間プラスのリターンとなりました。

当ファンドの特徴である高いインカムは、時間の経過とともに安定的に積み上がっていくため、長期保有によってその効果を最大限に享受することができます。

類似戦略の保有期間別リターン



※「3年間の保有リターン」において、例えば、「為替ヘッジあり」の'09/12の保有リターンは、2009年12月末から2012年12月末までの3年間保有したと仮定したリターン。「5年間の保有リターン」において、例えば、「為替ヘッジあり」の'09/12の保有リターンは、2009年12月末から2014年12月末までの5年間保有したと仮定したリターン。※「為替ヘッジなし」は円換算ベース。※上記の類似戦略は、当ファンドの投資対象ファンドである「グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブルユー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）（ヘッジなし・クラス）」と同様の運用チーム、投資哲学により運用された類似ファンドの米ドルベース、費用控除前のパフォーマンスを円ベースに換算した結果を表しており、当ファンドの運用実績とは異なります。また、あくまでも参考のために掲載したものであり、当ファンドの投資対象ファンドとは異なります。※上記は過去の実績を示したものであり、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。※「為替ヘッジあり」は為替ヘッジコストを考慮しています。

(出所) ヌビーン、ブルームバーグ

Daiwa Asset Management

収益分配金に関する留意事項

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

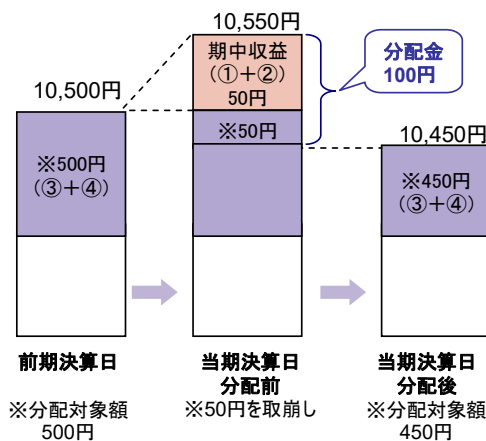
投資信託で分配金が支払われるイメージ



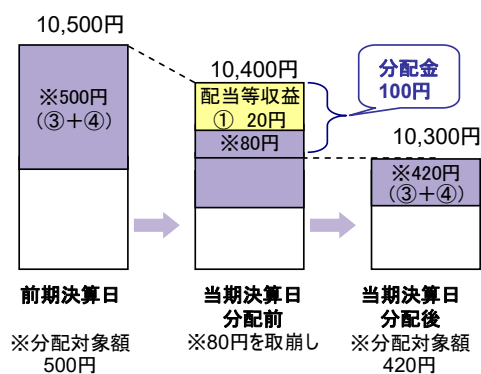
- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



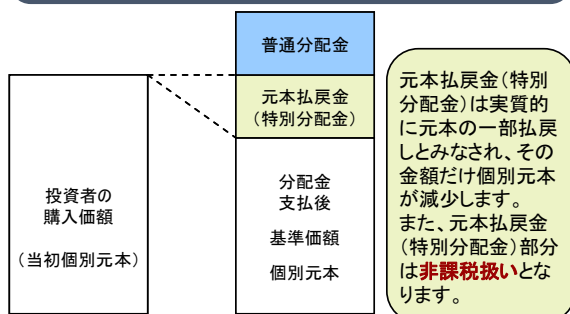
前期決算日から基準価額が下落した場合



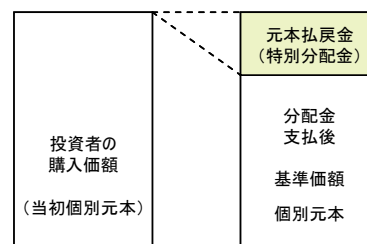
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

Ⅰ ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 世界の米ドル建資産に投資を行ない、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

ファンドの特色

1. 世界の米ドル建資産（株式、債券、優先証券など）に投資します。投資にあたっては、有望企業を選別のうえ、その企業が発行する証券の中で相対的に魅力度の高い証券を選択します。
 - ◆ ボトムアップ・アプローチにより、個別企業の財務状況、成長性や価格変動のきっかけとなる事象などに着目した評価・分析を行ない、有望企業を選別します。
 - ◆ 同一企業が異なるタイプの証券を発行している場合は、リスク・リターン効率などに着目して、相対的に魅力度の高い証券に投資します。
 - ◆ 運用はスビー・アセット・マネジメント・エルエルシーが行ないます。

2. 「為替ヘッジあり／隔月分配型」「為替ヘッジなし／隔月分配型」「為替ヘッジあり／資産成長型」「為替ヘッジなし／資産成長型」の4つのファンドがあります。

為替ヘッジあり／隔月分配型、為替ヘッジあり／資産成長型

◆ 為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

為替ヘッジなし／隔月分配型、為替ヘッジなし／資産成長型

◆ 為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。

基準価額は、為替変動の影響を直接受けます。

販売会社によっては「為替ヘッジあり／隔月分配型」「為替ヘッジなし／隔月分配型」「為替ヘッジあり／資産成長型」「為替ヘッジなし／資産成長型」のいずれかのお取り扱いとなる場合があります。くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

3. 「隔月分配型」は年6回、「資産成長型」は年2回決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

〔隔月分配型〕

毎年1、3、5、7、9、11月の各17日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

※第1計算期間は、2019年3月17日（休業日の場合翌営業日）までとします。

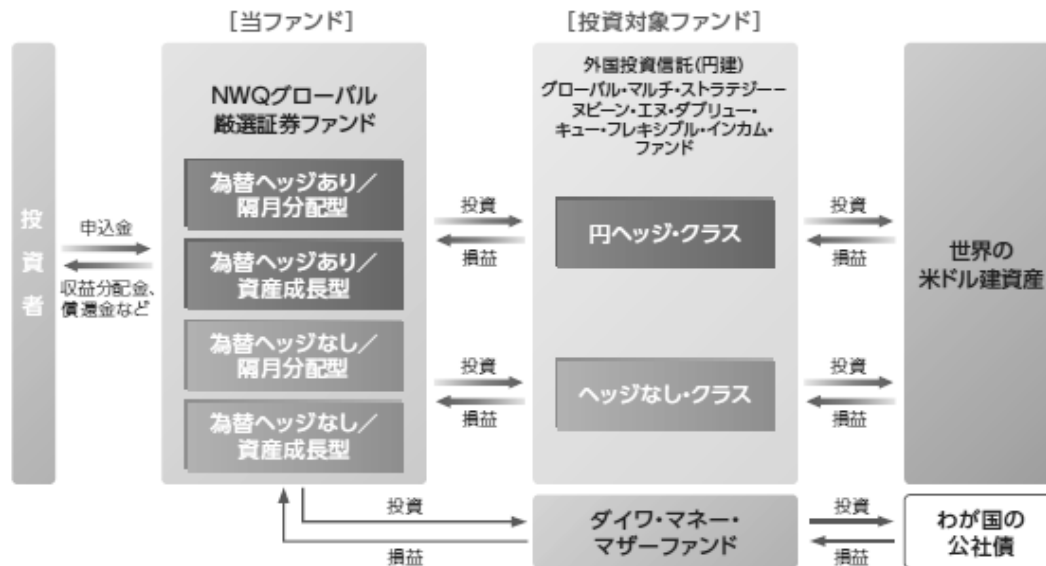
〔資産成長型〕

毎年3月17日および9月17日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

※第1計算期間は、2019年3月17日（休業日の場合翌営業日）までとします。

ファンドの目的・特色

4. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。外国投資信託の受益証券を通じて、世界の米ドル建資産に投資します。



◆ 各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。

- ① NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり／隔月分配型)：為替ヘッジあり／隔月分配型
- ② NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし／隔月分配型)：為替ヘッジなし／隔月分配型
- ③ NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり／資産成長型)：為替ヘッジあり／資産成長型
- ④ NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし／資産成長型)：為替ヘッジなし／資産成長型

◆ ①②の総称を「隔月分配型」とします。

◆ ③④の総称を「資産成長型」とします。

◆ ①②③④の総称を「NWQグローバル厳選証券ファンド」とします。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク（株価の変動、公社債の価格変動、その他の価格変動）」、「為替変動リスク」、「コントリ・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※「為替ヘッジあり／隔月分配型」「為替ヘッジあり／資産成長型」は、為替ヘッジを行ないませんが、影響をすべて排除できるわけではありません。なお、為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

※「為替ヘッジなし／隔月分配型」「為替ヘッジなし／資産成長型」は、為替ヘッジを行なわないので、基準価額は、為替レートの変動の影響を直接受けます。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

Ⅰ ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限) 2.2%(税抜 2.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.1275% (税抜 1.025%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資対象とする 投資信託証券	年率 0.55%程度	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する運用管理費用	年率 1.6775% (税込) 程度	
その他の費用・手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問い合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用：

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

加入協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）（為替ヘッジなし／隔月分配型）
（愛称：選択の達人） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○	○		○
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／資産成長型）（為替ヘッジなし／資産成長型）
（愛称：選択の達人） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○	○		○